



2
14
Fri

角館の火振りかまくら

2月14日、角館町の小正月行事「角館の火振りかまくら」が町内各所で行われました。

この火振りかまくらは、旧暦の小正月行事の一つで神聖な火で田んぼの厄を払うとともに、家族の無病息災・家内安全など、一年の無事を祈願するもので、江戸時代から伝わるとされています。

当日は、午後6時から長さ1メートルほどの縄の先に結んだ炭俵に火をつけて振り回すと、炎の輪ができあがり、会場を訪れた地域住民や観光客は幻想的な雰囲気を楽しんでいました。



2
12
Wed

中里のカンデッコあげ

2月12日、中里塞之神堂前（桧木内字中里）で「中里のカンデッコあげ」が行われました。

このカンデッコあげは、ホオノキで作った小型のくわ（カンデッコ）とクルミの木で作った男根をしめ縄の両端に結んで一対にしたものを、豊作や子宝、家内安全を祈ってご神木の桂の木に投げかけます。うまく枝にかかるとう願いが叶うと言われていました。

市内外からの訪れた観光客も一緒に、高さのある桂の木にカンデッコを上手に投げかけていました。

(写真上) 願いをこめながらご神木へ投げかけます。
(写真下) カンデッコを投げる前の神事。



2
15・16
Sat・Sun

田沢湖高原雪まつり

2月15日と16日、田沢湖高原雪まつりがたざわ湖スキー場内の特設会場で行われました。

会場には、秋田公立美術大学や多摩美術大学の学生などが作った雪像が並び、夜にはライトアップも行われました。

また、飲食店やキッチンカーも多数出店。汁物の人気投票「汁・椀グランプリ」も行われ、来場者は体を温めながらお気に入りの1杯に投票しました。

そのほかにも、過去に開催していた「けっちぞり大会」がチューブでタイムトライアルとして復活。「雪中宝さがし大会」には多くの子どもたちが参加し、会場は大いに賑わいました。



「雪中宝さがし大会」では、雪の中に隠れたお宝を一生懸命に探す様子も。

2
12
Wed

なるか

2月12日、田沢湖生保内地区に古くから伝わる小正月行事「なるか」が田沢湖庁舎前駐車場で行われました。

「なるか」はかつて、冬の田んぼで「なるか、ならねかヤンサー 稲食う虫は頭割って塩付けて 塩俵にぶちこんで 佐渡島に流せ流せー」と歌いながら、稲わらに火をつけて振り回し害虫を追い払い、さらに果樹に実がなるか、ならないか問いかけ、実にならない木はナタで切り倒すふりをする・・・30年前くらいまでは各集落で行われてきた行事ですが、一時期完全になくなりました。

その後、当時の田沢湖町職員らが集まって地域の学校の協力のもと、稲わらの火つけ（たいまつ行進）とそば・揚げパンのサービスというかたちで復活させましたが、スタッフの不足と新型コロナウイルス感染症の影響により、近年はお焚き上げの神事のみの実施となっています。



お正月に各家庭で飾られた「しめ飾り」「門松」などが、お祓いのうえ焚き上げられます。



白岩小学校の児童や地域住民などが集合。

2
8
Sat

白岩城址燈火祭

2月8日、角館白岩地区で「白岩城址燈火祭」が開催されました。3月いっぱい閉校となる白岩小学校の児童や、秋田国際教養大学に短期留学中のオーストラリア国立大学生など、たくさんの方々が参加しました。

館山にかがり火が灯され、幻想的な光景の中、今回は初めて雪中白岩ささらが披露され、集まった観衆を楽しませていました。



(写真上) 聖獣・麒麟をかたどったかがり火が輝きます。
(写真下) 館山のかがり火を背景に雪中白岩ささらを披露。

2
10
Mon

上桧木内の紙風船上げ

2月10日、西木地区の年中行事「上桧木内の紙風船上げ」が行われました。無病息災や家内安全などの願いが込められた大きな紙風船が次々と夜空に舞い上がり、幻想的な雰囲気を醸し出しました。



一斉打ち上げでは、紙風船と花火が同時に打ち上げられました。

2025

仙北市 冬まつり

市内では伝統の小正月行事と冬まつりが開催されました。
雪や寒さが織りなすイベントに多くの観光客が訪れ、冬の楽しみを満喫しました。

★ 栄光・表彰 ～輝くとき

第20回 仙北市民スキー大会



2月11日、「第20回仙北市民スキー大会」が、たざわ湖スキー場銀嶺特設コースで開催されました。

当日の成績は次のとおりです。

(○数字は順位、()は所属、敬称略)



アルペン ▶ **小学1年男子**／①吉田頼吾 (田沢湖 Jr スキー) ▶ **小学2年男子**／①照井琥凱 (同) ②永浦玖 (同) ③トゥムウェバゼ マイア (同) ▶ **同女子**／①佐藤綾音 (同) ②佐藤愛花 (同) ③佐々木柚 (同) ▶ **小学3年男子**／①高津瑠楓 (同) ②草薙樹 (同) ③佐藤彩叶 (角館小学校) ▶ **同女子**／①赤坂空詩 (田沢湖 Jr スキー) ▶ **小学4年男子**／①佐藤尊琉 (同) ②原颯介 (同) ③吉田統吾 (同) ▶ **小学5年男子**／①吉田悠人 (同) ▶ **同女子**／①照井心詞 (同) ②高橋結希愛 (同) ▶ **小学6年女子**／①佐々木麻 (同) ▶ **中学男子**／①門脇祥真 (湯前山連合) ②高橋蒼哉 (田沢湖 Jr スキー) ▶ **同女子**／①門脇恋珀 (湯前山連合) ②高橋芽唯 (田沢湖 Jr スキー) ③照井心夢羽 (同) ▶ **一般男子**／①佐藤拓実 (湯前山連合) ②佐藤巨 (田沢湖 Jr スキー) ③齋藤博栄 (同) ▶ **一般女子**／①吉田光里 (同) ②高橋知美 (同) ③吉田清 (同)

各部門ラップタイム賞 ▶ **小学女子の部**／佐々木麻 (同) ▶ **小学男子の部**／佐藤尊琉 (同) ▶ **中学女子の部**／高橋芽唯 (同) ▶ **中学男子の部**／門脇祥真 (湯前山連合) ▶ **一般女子の部**／草薙梨恵 (田沢湖 Jr スキー) ▶ **一般男子の部**／照井裕也 (同)

アルペン競技と
クロスカントリー競技で熱戦

1月25日と26日の2日間、第55回大曲仙北小中学校スキー大会が開催されました。

アルペン競技は、たざわ湖スキー場の国体コースで、クロスカントリー競技は、田沢湖スポーツセンターのクロスカントリーコースで熱戦が繰り広げられました。

当日の成績は次のとおりです。

※市内3位まで掲載、敬称略

第55回大曲仙北小中学校スキー大会

アルペン競技(大回転) ▶ **小学女子1・2年**／②佐藤愛花 (西明寺) ③佐藤綾音 (同) ▶ **小学女子3年**／②西宮志菜 (同) ▶ **小学男子3年**／②高津瑠楓 (生保内) ③佐藤彩叶 (角館) ▶ **小学男子4年**／①原颯介 (西明寺) ②佐藤尊琉 (同) ③吉田統吾 (生保内) ▶ **小学男子5年**／①吉田悠人 (生保内) ▶ **小学女子6年**／①桜田心菜 (角館) ②佐々木麻 (生保内) ▶ **小学男子6年**／②吉田結星 (神代) ▶ **中学女子**／①佐藤史織 (生保内) ②門脇恋珀 (西明寺) ▶ **中学男子**／③高橋蒼哉 (生保内)

クロスカントリー競技 ▶ **小学男子1・2年(1.5km クラシカル)**／①藤村咲杜 (神代) ▶ **小学女子3年(2km クラシカル)**／①藤村里咲 (同) ②佐藤菜桜 (同) ②佐藤雪菜 (同) ▶ **小学女子4年(3km クラシカル)**／②八柳紗奈 (同) ▶ **小学男子4年(3km クラシカル)**／①伊藤咲陽 (同) ▶ **小学女子5年(3km クラシカル)**／①清水琴美 (同) ▶ **小学男子5年(4km クラシカル)**／①佐々木秋獅 (同) ▶ **小学男子6年(4km クラシカル)**／③村上咲空 (松木内) ▶ **小学下学年クラシカルリレー(1.5km×3)**／①神代 (佐藤菜桜・藤村咲杜・佐藤雪菜) ▶ **小学女子クラシカルリレー(3km×3)**／①神代 (八柳紗奈・藤村里咲・清水琴美) ▶ **小学男子クラシカルリレー(3km×3)**／①松木内 (浅利礼央・村上咲空・齋藤和志)

第13回仙北市民総合美術展

第13回仙北市民総合美術展が2月1日から13日の会期で、角館町平福記念美術館を会場に開催され、初日には来賓や出展者が出席し、華々しくオープニングセレモニーが開催されました。

今回の開催では絵画や工芸、書、写真などの力作が187点出品されました。ベテラン作家の気品あふれる作品と高校生の瑞々しい感性の作品が調和したこれまでにない美術展となりました。

来場者は作品を食い入るように見たり、遠くから眺めるなど、思い思いの視点で作品を鑑賞する姿が見られました。



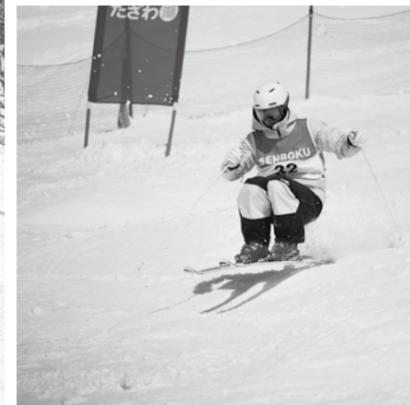
感性あふれる作品ずらり

2025フリースタイルスキー
秋田・田沢湖モーグル競技会

2月8日と9日、たざわ湖スキー場黒森山モーグルコースを会場に「2025フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会」が2年ぶりに開催されました。

昨年は雪不足の影響で中止となった同競技会は、過去に開催されたフリースタイルスキーワールドカップのノウハウ継承と選手の育成、冬季の誘客促進などを目的として開催されてきましたが、今回の競技会が最後の開催となりました。

この競技会には、大阪や愛知など日本各地から男子61人、女子24人が出場し、8日にはモーグル競技、9日にはデュアルモーグル競技で熱戦が繰り広げられました。選手たちは急斜面に設



置されたコブのコースを素早いターンで滑り降り、コースの途中2か所に設けられたジャンプ台では、空中の演技を披露。審判によるターンやエアアの採点と、滑走スピードなどでスコアを競いました。

当日の成績は次のとおりです。(○数字は順位、()は所属、敬称略)

モーグル競技 ▶ **男子A級**／①佐々木虎 (チームホットドック!) ②関口豊萌 (東北大) ③四方元幾 (パドルクラブNGY) ▶ **同女子**／①水沼理菜 (青学大) ②赤川華穂 (東洋大) ③水沼優希菜 (TEAM BUMPS) ▶ **男子B級**／①木村綾季 (弘前大) ②佐藤和正 (清林中) ③仲村悠希 (TEAM BUMPS) ▶ **同女子**／①山口紅 (チームジョックス) ②鈴木伶菜 (沼津ｽｰｽﾞ協会) ③伴和奏 (宇都宮スキークラブ)

デュアルモーグル競技 ▶ **男子A級**／①村上伊織 (Fu'sスキークラブ) ②関口豊萌 (東北大) ③四方元幾 (パドルクラブNGY) ▶ **同女子**／①水沼理菜 (青学大) ②水沼菜々美 (青学大) ③熊谷波来 (福島東高) ▶ **男子B級**／①木村綾季 (弘前大) ②伊藤隆平 (スキーチームゼロ) ③田代琉晟 (チームホットドック!) ▶ **同女子**／①藤谷琉花 (スノードルフィンズスキークラブ) ②伴和奏 (宇都宮スキークラブ) ③神頭藍 (北海道大)

ワールドカップのノウハウを後世に

明るい選挙を呼びかける

令和6年度明るい選挙啓発ポスターコンクール

公益財団法人明るい選挙推進協会などが主催する令和6年度明るい選挙啓発ポスターコンクールにおいて、角館高校の生徒3人が受賞しました。
3人の作品は、仙北市と秋田県における審査を経て、第3次審査（中央審査）に推進され、全国9万点を超える応募作品の中から選ばれました。

〈中央審査〉

公益財団法人明るい選挙推進協会会長・
都道府県選挙管理委員会連合会会長賞



佐々木美桜さん
(角館高校3年)

「去年も同コンクールに応募して入選することができたが、今年はさらに上位の受賞となり嬉しい。今年は新しい気持ちでポスターを作成し、コンクールのテーマである『声を届ける』という点をどのように表現するか工夫した」と話しました。

〈秋田県審査〉

秋田県明るい選挙推進協議会会長賞



栗山結人さん
(角館高校2年)

「今年初めて選挙ポスターを作成することになり、様々な案を考えた。『そつだ！選挙もいかないと！』のキャッチコピーは、選挙に対して親近感を持ってもらいたいと思いつめた」と話しました。

〈秋田県審査〉

優秀賞



小原里子さん
(角館高校3年)

「明るい選挙ポスターとなるように、使用する色を鮮やかにするように心がけた。去年と同じ賞を受賞することができて嬉しい」と話しました。

文化の発展に寄与

仙北市芸術文化章授章式

2月2日、仙北市芸術文化協会（佐藤心一会長）が主催する「第19回仙北市芸術文化章授章式」が、温泉ゆぽぽ「紫苑の間」で開催され、次の方に贈られました。（※年齢は受章決定時を掲載）



芸術文化章
個人・俳句
千葉茂樹氏
(87歳・田沢湖田沢)

昭和48年4月、田沢湖地区初の俳句サークル「田沢湖俳句会」結成・運営の中心的役割を担う。

毎月の「月例俳句会」や昭和50年の「新春俳句大会」、昭和52年の「第1回田沢湖俳句大会」などのほか、平成22年に田沢湖畔で実施された「合歓」主催の「合歓夏期鍛錬俳句大会」の誘致など、会長を補佐し、俳句の普及発展に大きく寄与している。

「田沢湖俳句会」事業として昭和55年に「花鮒（はなぶす）」「昭和58年に会結成10周年記念として「杯の花（はつのはな）」、また平成6年には、会結成20周年記念として「こまくさ」の発刊に尽力した。田沢地区にある「茶立の清水」に投句箱を設置し「通信雑木林」を発行、全県下に広めた。個人的には平成9年遺暦を記念して自選句集「樹齡」を刊行している。

仙北市芸術文化振興大会の俳句部門特定選者に選出されたほか、仙北市芸術文化協合理事として会の運営に寄与している。

自然公園内の景観維持などに尽力

自然公園関係功労者 環境大臣表彰

自然公園管理員として活動している渡辺春雄さんが、自然公園関係功労者環境大臣表彰を受賞し、1月23日に市長へ受賞の報告をしました。

この表彰は、環境省で自然公園の保護と適切な利用に関し、顕著な功績があった方を表彰するものです。渡辺さんは「田沢湖・抱返り県立自然公園」の自然公園管理員として、平成21年より巡視や啓発活動を行っており、田沢湖や抱返り溪谷をはじめとする自然公園内の景観維持やお客さまの安全で快適な利用につながる活動が認められ受賞となりました。



左から田口市長、渡辺さん、赤上副市長。

住民交流の場を創出

「元気なふるさと」

秋田づくり顕彰」受賞

1月29日、仙北地域振興局で令和6年度仙北地域振興局「元気なふるさと秋田づくり顕彰」表彰式が行われ、仙北市から「傾聴ボランティア 集いの場」がこれまでに活動実績が認められ表彰されました。この事業は、よりよい地域をつくるため地域固有の様々な課題の解決に向けて、自立的・主体的な活動を行っている方々を表彰し、この表彰を通して多くの県民がこうした活動に参画できるよう普及・啓発を図ることを目的としています。「傾聴ボランティア 集いの場」は平成30年からサロン形式の高齢者の集いを開催しており、孤独な高齢者やうつなどが増加する昨今の状況の中で、相手の気持ちに寄り添いながら話を聞く、心の安らぎの場を作るボランティア活動を行っています。



表彰式に出席した代表の小松龍子さんは「今日は表彰いただきありがとうございます。ありがとうございました。参加は随時受け入れていきますので、ぜひ皆さんも近くにいらっしゃいましたら気軽に参加してください」と話しました。

伝統的な芸能の継承

第28回おやま囃子芸能発表会

2月11日、仙北市角館交流センターで第28回おやま囃子芸能発表会が開催されました。今回は、計13団体が出演し、お囃子や手踊りの日ごろの練習成果を披露しました。

この行事は、国指定重要無形民俗文化財「角館祭りのやま行事」の重要な構成要素である「おやま囃子」を、日ごろ練習している若者たちに、その成果を発表する場を設け一堂に披露することにより、レベルアップを図り、伝統の継承活動に寄与するものです。



出演団体名
▼飾山囃子弘道流奏秋会
▼郷土芸能角館飾山囃子保存会
▼秋明会
▼穂月会
▼飾山囃子奏会
▼お山ばやし扇栄会
▼角館おやまばやし櫻義会
▼神代芸能保存会藤原組
▼照桜会
▼秋月会
▼千葉キヨ社中
▼夢燈会
▼おやまばやし清友会（出演順）

地域活性化と国際交流を目指して

インターナショナルスクール設立に関する協定書調印式

仙北市では、国家戦略特区の優位性を活かし、2023年度より地域再生計画「インターナショナルスクール誘致計画」に基づき、新たな雇用の場や創業機会などの創出を目指して、インターナショナルスクールの誘致に取り組んできました。

2月14日、市役所田沢湖庁舎にシンガポールのナイツブリッジハウス（KBH）インターナショナルスクールの代表のジョン・フェアロンさんが訪れ、仙北市とインターナショナルスクール設立に関する協定書を締結しました。

協定書調印式で、田口市長は「豊かな自然や歴史がある観光地の仙北市がインターナショナルスクールに素晴らしい教育環境を提供できるだけでなく、スクール開校が地元の子どもたちに国際的な交流機会を提供できる」と述べました。また、フェアロン代表は「仙北市の自然環境や伝統



協定書を締結し、笑顔のフェアロン代表と田口市長。

文化をカリキュラムに取り入れたい」、「地域経済の活性化にも貢献したい」と述べました。
協定では、スクールの開校に向けた相互協力や周辺環境への配慮、地元企業の活用、地域住民の雇用、地域との交流支援などが盛り込まれています。仙北市ではインターナショナルスクール開校を支援し、地域活性化を目指していきます。



インターナショナルスクール設立に関する協定書調印式
仙北市×ナイツブリッジハウス（KBH）インターナショナルスクール

善意ありがごとくまいります



田沢湖図書館に 児童書の贈りもの

田沢湖図書館のおはなし会「おはなし玉手箱」に、ボランティアで参加されている岩手県滝沢市の柳生達雄さんから、去年に引き続き今年も児童書が寄贈されました。柳生さんからは「おはなし会で会った田沢湖の子もたちの元気な姿を思い、本を贈ります」というメッセージが届いています。ぜひ田沢湖図書館で手に取ってください。

善意ありがごとくまいります

合格祈願米をいただきました



秋田内陸線 田んぼアート合格祈願米 贈呈式
左から須田教育長、門脇さん、吉田社長、本道松木内中学校長。

1月24日、北秋田市役所阿仁庁舎で合格祈願米贈呈式が行われ、秋田内陸地域公共交通連絡協議会から須田高教育長と松木内中学校3年門脇颯大さんに目録と合格祈願米が手渡されました。
この合格祈願米は秋田内陸線田んぼアートから収穫されたもので、高校受験を控えた仙北市と北秋田市の中学校3年生に贈られました。
贈呈式で秋田内陸縦貫鉄道の吉田裕幸社長は「合格祈願米を食べて残り少ない中学校時代を悔いなく過ごしてほしい」、門脇さんは「夜食すべて勉強に臨みたい。受験勉強のエネルギーに変えて合格を目指す」と話しました。

松木内中学校に

柳葉敏郎さんから

寄贈していただきました



俳優のギバちゃんこと柳葉敏郎さんから、松木内中学校の学校活動に役立ててほしいと、フルートなどの楽器や折りたたみイス、A1搭載の卓球マシンなどが寄贈されました。

寄贈品は昨年9月から11月にかけて松木内中学校に届けられ、すでに部活動の練習や大会でも使用されています。生徒たちから柳葉さんには感謝の手紙が送られました。

農事組合法人生保内南から子育て支援事業

業に対して寄贈いただきました

2月6日、農事組合法人生保内南から生保内中学校、生保内小学校、だしのこ園へ子どもたちの教育に役立ててほしいと図書購入費を寄贈いただきました。
生保内中学校と生保内小学校を訪れた同法人の荒木田理事と田村理事は「未来ある子どもたちのために活用してほしい」と目録を各校長先生に手渡しました。
また、だしのこ園では紙芝居セットの贈呈式が行われました。理事から園児に目録が手渡され、園児から「ありがとう」といいます。紙芝居の時間を楽しみにしています。



だしのこ園のみんなと記念撮影。



左から田村理事、荒木田理事、米澤生保内中学校長。



左から竹村生保内小学校長、田村理事、荒木田理事。

仙北市遭難対策委員会主催

令和6年度冬季山岳遭難救助訓練

1月31日、雪崩を想定した冬季山岳遭難救助訓練が、アルパこまくさ周辺で行われました。

この訓練は、仙北市と仙北警察署、角館消防署が合同で行い、訓練を通じて連携強化を図ることを目的としています。

当日は、計37人が参加。角館消防署の署員を講師に、実際の遭難ケースを想定したシナリオで行いました。雪崩ビーコン(※1)やゾンデ棒(※2)を使用し、遭難者の捜索・救助・搬送手順などを学びました。



参加した職員からは「ゾンデ棒の使用方法や遭難者救助方法について知識を深めることができた。万が一、遭難が発生したときに備え備品の点検を怠らず、迅速に対応したい」と感想が述べられました。

※1 電波信号を受発信する携帯無線機。遭難者がビーコンを携帯し、電波信号を発信状態にしていれば、捜索隊が持つビーコンに電波信号を受信され遭難場所の特定につながる。

※2 長さ約3mの棒。雪面にさして埋没した遭難者の捜索に使用する。



国民健康保険係からのお知らせ

【問合せ】国保市民課 国民健康保険係(角館庁舎) ☎(43)3316



国民健康保険加入者が進学などにより転出する場合は手続きが必要です

国民健康保険「資格確認書」は、資格情報のお知らせは住所がある市町村で発行するため、仙北市から転出の手続きをするとき仙北市国民健康保険を脱退することになります。

ただし、仙北市国民健康保険に加入している方が進学や進級を機会に転出される場合や、学生であった方が就職のため3月中に転出される場合は、世帯主(保護者)の申請で仙北市の「資格確認書」を「資格情報のお知らせ」を発行できます。お近くの市役所各庁舎・出張所の国民健康保険担当窓口にて手続きをお願いします。

また、前年も同様の手続きをしていただいた方には、関係書類を世帯主宛に送付しますので、更新または非該当の手続きをしていただくようお願いいたします。

●手続きに必要なもの

- ・学生本人の国民健康保険被保険者証
- ・在学証明書または学生証の写し(進学のの方は、4月以降に在学証明書の提出をお願いします)
- ・来庁される方の本人確認書類(運転免許証、マイナンバーカードなど)



職場などの健康保険に加入後は、国民健康保険「被保険者証」または「資格確認書」は使用できません

就職や扶養認定などで職場の健康保険に加入した場合、国民健康保険「被保険者証」または「資格確認書」を使用して医療機関などを受診できません(職場の資格確認書がまだ手元に届いていない場合でも使用できません)。

速やかに市役所各庁舎・出張所の国民健康保険担当窓口で、国民健康保険を脱退する手続きを行ってください。

医療機関などを受診する際は、必ず「職場の健康保険に加入する手続きを行っている」旨を伝え、新しい資格確認書の交付を受けたら、速やかに受診した医療機関・調剤薬局へ連絡または持参してください。

職場の健康保険に加入後も国民健康保険「被保険者証」または「資格確認書」を使用して医療機関などを受診している場合は、かかった医療費(仙北市が負担した分)を返納していただくこととなります。



最後の挨拶
中山里沙

秋田は、自然も人も純粋すぎる。農家のかあさん、とうさん、その日その日を真面目に生きて、あたりまえに地域のことを考える人たちが、ここで育つ子どもたち。その屈託のなさに勝手に懺悔したくなったり、純粹さにあてられて涙が湧くことがある。商業主義や個人主義が当然の自分分は汚れているなあと感じたこともある。きっと、自分も秋田のようにきれいになりたいと欲して来たところがあるのです。でも年齢では遅かったか、自分のすれ具合が目につくばかりで。

協力隊として観光協会の仕事を手伝いながら仙北市を見てきた。見るほどに、聞くほどに、目の前の景色の向こう側にこそ、日本史に表れきらない歴史や文化のルーツが広がり、深い層で周辺地域や海の向こうとつながっているのを知った。遠くから見える姿は氷山の一角にすぎない。訪れる人の中にはその奥深さを感じとる人も多いけれど、やはり、住まなければ気づき得ないものの方が圧倒的に多い。

私はこの3月末で、協力隊の任期



秋田の春は、格別に絶品。もうすぐですね。

を終了する。その後も個人事業主を続け、観光協会のお仕事をもちょう傍らで、この土地を成すものの豊かな広がりを感じ、ここで生きる人たちのことを、どうにかして世に表す仕事をしたいと考えている。勝手ながら。

仙北市に移住して得たものは計り知れない。初めて暮らす異文化のなかで自分の弱さや甘さも向き合わされた。なにより、都市部の暮らしだけでは気付けない、世界を見る視座が改められた。どんな国のどんな小さな土地でも、そこに住む人の視点から世界が見られ、つくられている。私の世界を変えてくれた、出会えなかった人たちに会わせてくれた、移住とは個人における革命です。仙北市の皆さんに感謝申し上げます。大変お世話になりました。そして、これからもよろしくお願ひします。

引っ越し手続きオンラインサービスについて

【問合せ】国保市民課 市民係(角館庁舎) ☎(43)3307



マイナンバーカードをお持ちの方は、マイナンバーから転出届の手続きができます。このサービスを利用すると、原則、窓口への来庁が不要となります。転出届をした後は別途、転入先市区町村で転入届などの手続きが必要です。

●準備するもの

- ・電子証明書が有効なマイナンバーカード
- ・マイナンバーにアクセスする端末(スマートフォン・パソコン)
- ・連絡先電話番号
- ・新しい住所

※ご利用にはマイナンバーアプリのダウンロードが必要です。

※転出に伴う手続き(国民健康保険、国民年金、介護保険、児童手当など)については窓口にお越しいただく場合があります。

マイナンバー引っ越し手続きはこちら→



令和6年度第3回文化財講習会

【問合せ】文化財課(角館庁舎) ☎(43)3384



今回の講師は、西木町文化財保護協会の加藤義規会長です。

市民には馴染みの深い「おぼこ」は、伝統芸能や民話などで使われています。しかし、語源から現在の解釈まで、意外と知られていないと思えます。地域が変わると意味合いが違ってしまう方がいたり、多様性に富んだことばであることはご存じでしょうか。

今回は、「おぼこ」という言語にスポットをあて、変遷からおぼこにせまる講習会を開催します。

事前申し込みとさせていただきますので、受講希望の方は文化財課まで連絡をお願いします。

- 日時/3月18日(火)10時~12時
- 場所/仙北市役所角館庁舎2階201・202会議室
- 事前申込の受付日/3月3日~3月14日(土・日曜日、祝日除く)8時30分~17時15分
- 募集人数/先着30人
- 連絡先/仙北市文化財課 ☎43-3384



▶3月のマイナンバーカードの時間外交付日(要予約)は **5日・19日** 詳細はこちらから▶



軽自動車税種別割は毎年4月1日現在の所有者に対して課税されます



軽自動車税種別割が課税されている車両の確認をお願いします。
譲渡や廃棄をして車両が手元にならなくなった場合、課税されたままになっているバイクや軽自動車などはありませんか？
車両を譲渡した場合や所有者の方の死亡した場合は、名義変更などの手続きをしないと前所有者や亡くなった方に軽自動車税種別割が課税され続けます。
車両を廃棄した場合は、廃車の手続きを行わないと軽自動車税種別割が課税され続けます。
名義変更・廃車などの届出先は車種によって異なりますので、次の表を参考に手続きをお願いします。

車種	届出先
▶原動機付自転車 (125cc以下) ▶特定小型原動機付自転車 ▶小型特殊自動車 (農耕・その他) ▶ミニカー	税務課、角館・西木市民センター、各出張所 手続きに必要なもの 《名義変更の場合》譲渡証明書など 《廃車の場合》廃車する車両のナンバープレート ※ナンバープレートを紛失・破損などの理由により返納できない場合は、弁償金200円が必要です。 問合せ 税務課 ☎43-1117
▶四輪軽自動車 ▶三輪軽自動車 ▶被けん引車 (軽トレーラーなど)	軽自動車検査協会秋田事務所 (秋田市寺内字三千刈463-3) ☎050-3816-1834 大曲仙北地区自家用自動車協会 (大仙市大曲若葉町1-20) ☎0187-62-2371
▶軽二輪 (125cc超250cc以下) ▶二輪の小型自動車 (250cc超) ▶雪上車	東北運輸局秋田運輸支局登録部門 (秋田市泉字登木74-3) ☎050-5540-2012 大曲仙北地区自家用自動車協会 (大仙市大曲若葉町1-20) ☎0187-62-2371

手続きを忘れずに！児童手当に関するお知らせ



令和6年10月分(12月支給分)から児童手当制度が一部改正となり内容が拡充されました。高校生年代の児童まで支給対象が拡充され、父母などのうち主たる生計維持者(所得の高い方)が、住所地に申請して受給します。現在受給していない方は申請手続きが必要です。忘れずに手続きをお願いします。公務員の方は職場が申請先となります。

●次の(1)から(3)に該当する場合には手続きが必要です。

(1)高校生年代(平成18年4月2日～平成21年4月1日生まれ)の児童のみを養育している方
(2)支給対象児童(0～18歳年度末までの児童)を養育しているが、所得上限額超過により児童手当または特別給付の受給資格を喪失した方
必要書類/認定請求書、通帳コピー

▶必要書類/「監護相当・生計費の負担」についての確認書
申請書類は、子育て推進課および各市民センターなどの窓口へ備えているほか、仙北市のホームページからダウンロードできます。

●注意/経過措置として、令和7年3月末までの受け付け分は令和6年10月分まで遡及して支給対象となりますが、お早めにお手続きください。

ご自宅家庭内
「もっと子育て応援
児童手当」



新潮社記念文学館朗読ボランティアやさいの花 朗読学習会のお知らせ



【問合せ】学習資料館・イベント交流館 ☎(43)33333

声を出すことは身体能力を高めることにつながります。この機会に美しい日本語を話す学習をしてみませんか？ぜひ皆さまご参加ください。

●講師/塩田睦子氏(元ABSAナウンサー・NPO日本朗読協会会員)

●日時/4月～11月 第3木曜日
▶午前の部/10時～12時
▶午後の部/13時～15時

●場所/仙北市総合情報センター2階相談室(角館町田町上丁23)
●対象/朗読に興味のある方、朗読活動をしている方など

●参加費/1回1200円(テキスト代ほか)

●詳しいお問い合わせ先/やさいの花・富岡 ☎090・6222・4261

電気柵などの設置にかかる費用の一部助成について



【問合せ】農林整備課(角館庁舎) ☎(43)22007

仙北市では、野生動物による農畜産物被害および人的被害を防止・軽減するため、電気柵などの設置にかかる費用の一部を助成します。令和6年度に限り、令和6年4月1日以降の購入分であれば対象となります。雪解け後の対策として購入してはかがずか。

●対象品目/野菜、果樹、水稲および畜産全般

●補助対象経費/原則として3年以上の使用に耐えられる資材(柵線、支柱、導電性防草シートなど)の導入費用

※設置費用、資材などの運搬費、手数料、消費税などについては補助対象に含まれません。

●補助率/対象経費(税抜)の1/3以内(千円未満切り捨て)
※上限額10万円

●要件/▶市内に住所(農業法人にあっては所在地)を有すること
▶対象品目を出荷販売していること
▶市税などに滞納がないこと

●申込方法/広報せんぼく令和6年11月号または市役所ホームページでご確認ください。

市役所ホームページ▶

「物価高騰対応重点支援給付金(追加分)」と「灯油購入費緊急助成」の申請期限は3月14日です



【問合せ】社会福祉課 福祉政策係(角館庁舎) ☎(43)2255

エネルギー・食料品などの物価高騰による負担増をふまえ、特に家計への影響が大きい低所得者世帯(令和6年度市民税非課税世帯)に対し、1世帯あたり3万円、また子ども加算として、同世帯において扶養されている18歳以下の子ども1人あたり2万円(市民税均等割課税者の被扶養者のみで構成される世帯は除く)、灯油購入費緊急助成として1世帯あたり6千円の給付を実施しています。

まだ確認書(フリーム色)が手元にあり申請されていない世帯は、忘れずに3月14日(金)まで返送してください。

対象となった世帯に対して、1月17日付けで薄きみどり色の封筒で確認書を送付しており、返送いただいた方から順次振り込みをしています。今回対象となった世帯で、前回または前年度給付金を受けた世帯は、すでに申請なしで振り込みとなっています。

振り込みとなっている世帯は対象とはなりませんので、お間違いのないようお願いします。



【6月1日採用】仙北市職員採用試験のお知らせ



【問合せ】総務課職員係(田沢湖庁舎) ☎(43)1111

●試験区分/介護員
●採用人数/1人
●受験資格/昭和55年4月2日以降に生まれた方で、申込時点で介護福祉士の資格を有する方

※資格取得見込みの方は受験できません。

●受付期間/3月11日(火)17時15分まで
●試験日程/▶1次試験/3月23日(日)
▶2次試験/4月17日(木)

●試験会場/1次試験、2次試験ともに市役所田沢湖庁舎

●合格者の採用日/6月1日予定
●申込方法/パソコンやスマートフォン上のインターネット環境から左の二次元コードにアクセスし、エントリーシートをダウンロードのうえ、仙北市スマート申請サービスで利用者登録と受験申し込みを行ってください。

市ホームページ▶

学校適正配置検討委員会を開催しました

【問合せ】学校適正配置準備室（西木庁舎）☎ (43) 3381

1月20日、今年度3回目の委員会を開催し、学校再編案とスケジュールを具体的に示す「学校適正配置計画（素案）」について検討しました。



再編案	小学校		中学校	
	案	案1	案2	
統合の組合せ	角館 生保内 神代 西明寺 桜木内	角館 生保内 神代 西明寺 桜木内	角館 生保内 神代 西明寺 桜木内	
使用校舎	西明寺小（改修）	神代小（改修）		

スケジュール

- 令和7年度に計画を完成できるよう進めます。
 - 計画完成後は、準備期間（2～3年）を経て再編を実現します。
- ※ 統合関係校による「統合準備委員会」を設置し、校名・校歌・校章・制服・学用品・通学体制・教育課程の検討や、校舎整備・統合前児童生徒交流・閉校記念事業などを実施します。

主な検討内容・意見

- 放課後児童クラブや通学体制の整備など、関係機関と連携して確実に実施してほしい。
- 統合の不安払拭のために、近年統合を経験した保護者の話を聞く機会があればよい。
- さらに児童生徒数が減少すると再統合の可能性もある。統合のために改修した校舎が無駄にならないよう、将来どうしていくのか示していく必要がある。



【1】ごみ収集は8時から開始されます。収集するごみの種類や量によって、回収時刻が毎日同じとは限りませんので、集積所へは、決められた時間までに出してください。

【2】ごみ集積所は地域の方々で管理されています。利用する方々が気持ちよくごみ出しができるよう綺麗に使いましょう。

【3】み集積所は、燃やせるごみを出す曜日が、6年度と違うカレンダー（違うグループ）が届いていましたら、お取り替えますのでご連絡ください。

【4】令和7年度「家庭ごみ収集カレンダー」を今月号の「広報せんぼく」と一緒に配布しています。6年度と大きな違いはありませんが、年末年始や祝日の関係でいつもの月と収集する日が違う場合もありますので、7年度のカレンダーを確認して集積所へ出してください。

7年度のカレンダーを使用するまで1か月ほどあります。現在ご使用のカレンダーの後ろへ貼るなどして、なくさないようご注意ください。

【問合せ】生活環境課 環境係（角館庁舎）☎ (43) 33008

令和7年度「家庭ごみ収集カレンダー」の配布について

紙風船館の利用時間に変更になります

現在、紙風船館の利用時間は22時までとなっています。しかし、21時以降の利用者が少ないことから、閉館時間の短縮に向け、地域の方々や、利用者の方々に説明を行ってきました。その結果、利用時間を次のとおりとします。お知らせいたします。

紙風船館の利用時間に変更になります

【問合せ】上桜木内出張所 ☎ (49) 2159



現在の利用時間
8時30分～22時まで
4月1日からの利用時間
8時30分～21時まで

【問合せ】上桜木内出張所 ☎ (49) 2159



クニマス未来館のInstagramはこちらフォローをお願いします！



田沢湖クニマス未来館では、3月1日より企画展を開催します。

● 企画展「クニマスはなぜ生き残っていたのかー田沢湖の漁業とヒメマスの歴史ー」

クニマス絶滅前に行われたヒメマスのふ化放流。ヒメマスを初めて田沢湖へ移植したのは1903（明治36）年のことです。

しかし田沢湖では移植の成果である産卵回帰が見られませんでした。ヒメマスのふ化放流に伴って、田沢湖の固有種クニマスの人工増殖の取り組みが始まりました。これが結果的にクニマスを完全な絶滅から救うことにつながったのです。

昨年秋に実施した企画展が好評だったため、一部展示内容を変えて再び開催します。

● 場所／田沢湖クニマス未来館 研修室内

● 開催期間／3月1日（土）～4月13日（日）9時～16時

※ 毎週火曜日は休館日です（祝日の場合は翌日）。仙北市民の皆さまは入館料無料です。

クニマスはなぜ生き残っていたのかー田沢湖の漁業とヒメマスの歴史ー

【問合せ】田沢湖クニマス未来館 ☎ (49) 8131



令和7年全国山火事予防運動の実施について

【問合せ】農林整備課（角館庁舎）☎ (43) 2207



林野庁、消防庁主催で3月1日から7日まで（消防庁などが実施する春季全国火災予防運動と同一期間）の期間に、広く国民に山火事予防意識の啓発を図るとともに、予防対策を強化し、森林の保全と地域の安全に資することを目的とし、全国山火事予防運動が実施されます。

市民の皆さまには次のことなどに留意してください。

- ・ 枯れ草などのある火災が起こりやすい場所では、たき火をしないこと
- ・ たき火など火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火すること
- ・ 強風時および乾燥時には、たき火、火入れをしないこと
- ・ 火入れを行う際は市町村長の許可を必ず受けること
- ・ 必要なら防火対策を講じること
- ・ たばこは、指定された場所で喫煙し、吸いがらは必ず消すこと
- ・ 投げ捨てないこと
- ・ 火遊びはしないこと
- ・ また、させないこと

● 統一標語
「ふるさとの山を守ろう 火の手から」

思い出の潟分校 田村茂雄イラスト展開催

【問合せ】思い出の潟分校 ☎ (43) 0766



思い出の潟分校では田村茂雄氏のイラスト展を開催します。

田沢湖刺巻在住の田村茂雄（たむらしげお）氏は、ふるさとの原風景に魅了されイラストを描き続けています。秋田魁新報の読者投稿ページ「声の十字路」に19回掲載された実績があります。

今回のイラスト展では、多くの作品の中から掲載された18点を展示します。田村氏の描く懐かしい風景をぜひご覧ください。

● 場所／思い出の潟分校3、4年教室

● 開催期間／3月1日（土）～4月13日（日）9時～16時

※ 毎週火曜日は休館日です（祝日の場合は翌日）。仙北市民の皆さまは入館料無料です。



▼ 期日前・不在者投票のできる期間

令和7年3月21日(金)～4月5日(土)
(投票時間は投票所によって異なります)

投票日当日に仕事などのために投票所へ行くことのできない方は期日前・不在者投票をご利用ください。

1 期日前投票は、お住まいの地域に関係なく次の7投票所いずれでも投票できます。

投票所	投票期間	3月21日(金)～ 30日(日)	3月31日(月)～ 4月5日(土)
仙北市役所田沢湖庁舎・ 西木庁舎		8:30～20:00	
タカヤナギワンダーモール店		9:00～20:00	
神代・田沢・桧木内・上桧木内 出張所(3月31日(月)～)			8:30～17:00

入場券がお手もとに届いている場合は、入場券裏面の「期日前投票宣誓書兼請求書」にあらかじめ所要事項を記入のうえ、投票時にご持参ください。入場券を持参しなくても、投票は可能です。

2 滞在先(出稼ぎなど)で不在者投票を行う場合は、お早めに請求してください(仙北市役所各庁舎および各出張所の窓口)に3月13日(木)から、請求書を準備します。

3 病院などの指定施設に入院・入所されている場合は、施設担当者におたずねください。

4 郵便などによる不在者投票(郵便投票証明書をお持ちの方)は、4月2日(水)までに請求してください。

▼ 郵便などによる不在者投票について

身体に重度の障がいがあり、次の要件にあてはまる方は、所定の手続きで、郵便などによる不在者投票ができます。この制度を利用するためにはあらかじめ、当選挙管理委員会から「郵便等投票証明書」の交付を受けておく必要がありますので、ご注意ください。



1 身体障害者手帳に次のいずれかの障がい記載されている方

- ▶ 両下肢、体幹、移動機能の障がい…1級または2級
- ▶ 心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の障がい…1級または3級
- ▶ 免疫、肝臓の障がい…1級から3級まで

2 戦傷病者手帳にいずれかの障がい記載されている方

- ▶ 両下肢、体幹の障がい…特別項症から第2項症まで
- ▶ 心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓の障がい…特別項症から第3項症まで

3 介護保険の被保険者証に要介護状態区分が「要介護5」と記載されている方

▼ 代理投票について

心身の故障やその他の事情により、自分で投票用紙に候補者の名前などを記載できない方は、代理投票することができます。代理投票は投票所の事務に従事する者のうちから2人の補助者が決められ、そのうち1人がご本人に代わって候補者の氏名を代筆し、もう1人がこれに立ち会います。(代理投票の注意点)

ご本人が直接投票所へお越しいただく必要があり、選挙人の家族や付き添いの方は代筆することはできませんのでご注意ください。また、ご本人がどの候補者に投票したいのか意思が確認できない時は、投票することができません。

▼ 点字投票について

目の不自由な方で点字を打つことが可能な方は、点字で投票することができます。

点字器についてはご持参いただいたものでもご利用できますし、投票所にも備え付けています。

問合せ/
仙北市選挙管理委員会
(田沢湖庁舎) ☎ 43-1150

投票は、私たちのことばだ。

秋田県知事選挙

任期満了に伴う秋田県知事選挙は、3月20日(木)に告示、4月6日(日)に投票の予定です。

投票開票予定日時と会場

令和7年4月6日(日)

投票 7:00～19:00 (市内21投票所)

開票 20:30～ (角館交流センター)

投票できる方

次の条件をすべて満たし、選挙人名簿に登録されている方

年齢/平成19年4月7日以前に生まれた方

住所/▶ 令和6年12月19日以前から引き続き仙北市に住んでいて、住民基本台帳に登録されている方

▶ 引き続き3か月以上仙北市に居住し住民基本台帳に記載されていた方で、仙北市に住所を有しなくなつてから4か月を経過しない方のうち、転出先(秋田県内に限る)の選挙人名簿に登録されていない方

※県外へ転出した方は投票できません。

※令和6年12月20日以降に秋田県内の市町村間で住所を異動した方は、異動前の住所地で投票することができます。異動前住所地での投票の際は、下記1または2の方法で、「引き続き県内に住所を有しているか」の確認をさせていただきます。

1 「引き続き県内に住所を有する旨の証明書」の提示…持参していただくと受付がスムーズです

この証明書は、住民基本台帳ネットワークを通じてどちらの役所窓口でも発行できます。仙北市では、3月21日から4月6日までの期間、期日前または当日投票所開設時間内において田沢湖・角館・西木の各庁舎の住基担当窓口で無料発行しますが、土・日曜日および平日の17時15分～20時までの間は、角館庁舎のみでの発行となります。投票所での受付の際、係にご提示ください。

2 その旨を、投票所でお申し出いただく

事務局で確認します。確認時には少々お待ちいただけますことをご了承ください。

入場券の発送

入場券は世帯主の方宛に世帯員分をまとめて送付します。投票日当日は入場券をよくご確認ください。お出かけください。

当日の投票所

入場券が届きましたら、投票場所を必ず確認してください。

投票区	投票所	
田沢湖地域	田沢	田沢交流センター
	石神	石神会館
	武蔵野	仙北市民会館
	生保内	田沢湖総合開発センター
	潟	思い出の潟分校
	岡崎	岡崎生活総合センター
	神代	田沢湖福祉医療センター
	梅沢	森腰構造改善センター
角館地域	卒田	卒田会館
	北	外町交流広場
	南	角館高校(定時制課程) 駒草キャンパス体育館
	東	角館交流センター
	西	角館中学校
	中川	中川コミュニティセンター
	雲沢	雲沢集落センター
	西長野	西長野交流センター
西木地域	白岩	白岩コミュニティセンター (旧白岩小学校)
	上桧木内	紙風船館
	桧木内	西木総合健康増進センター (吉田体育館)
	西明寺北	かたくり館
西明寺南	西木庁舎	

仙北市学校文化芸術活動指導者 登録制度がスタートします



仙北市内児童生徒の文化芸術活動の普及、発展、環境整備を図るため、学校文化芸術活動指導者登録をしてもらい、学校の部活動などの要請に応じて指導者の情報を提供する制度です。

学校文化芸術活動指導者が登録した「指導可能な分野」「指導できる曜日や時間」「指導対象(校種)」などの条件と、依頼者(仙北市立小中学校長)の条件がマッチした際に指導者の情報を依頼者に提供します。

活動経験や指導経験などのキャリアを活かして、学校の文化芸術活動振興に貢献したい方や、指導の経験がなくても文化芸術活動が好きで、児童生徒を対象とした部活動などの指導者として地域貢献したい方はぜひ登録ください。

- 指導者登録の要件/次の(1)~(5)全て該当する方
- (1) 登録する年の4月1日において18歳以上であること
 - (2) 次のいずれかに該当すること
 - ア) 文化芸術活動に関する学識経験者、またはこれまでに文化芸術活動に関わった経験があり、その分野における専門知識・技能を有している方
 - イ) 文化芸術活動の普及・振興に理解があり、支援および協力する意欲がある方
 - ウ) 教員退職者または教員免許状保有者
 - エ) 部活動指導員または外部指導者として学校部活動での指導経験がある方
 - (3) 仙北市暴力団排除条例に規定する暴力団員でないこと
 - (4) (3)の関係者と社会的に非難されるべき関係を有する者でないこと

(5) 過去の指導において、体罰、ハラスメントなど、指導者として不適格と認められる事項のない方であること

●登録方法/(1)・(2)のどちらかです

(1) インターネットを利用する方法/下の二次元コードを読み込みお申し込みください(仙北市のホームページにも専用ページがありますので、そちらかも申し込みできます)。

(2) 窓口を設置している申請書を提出する方法/仙北市教育委員会北浦教育文化研究所(西木庁舎2階)で申請書を受け取り、必要事項を記入のうえ北浦教育文化研究所に提出する(用紙は、仙北市のホームページからダウンロードも可能です)。

インターネット申し込み
フォームはこちら



仙北市スポーツ指導者登録制度

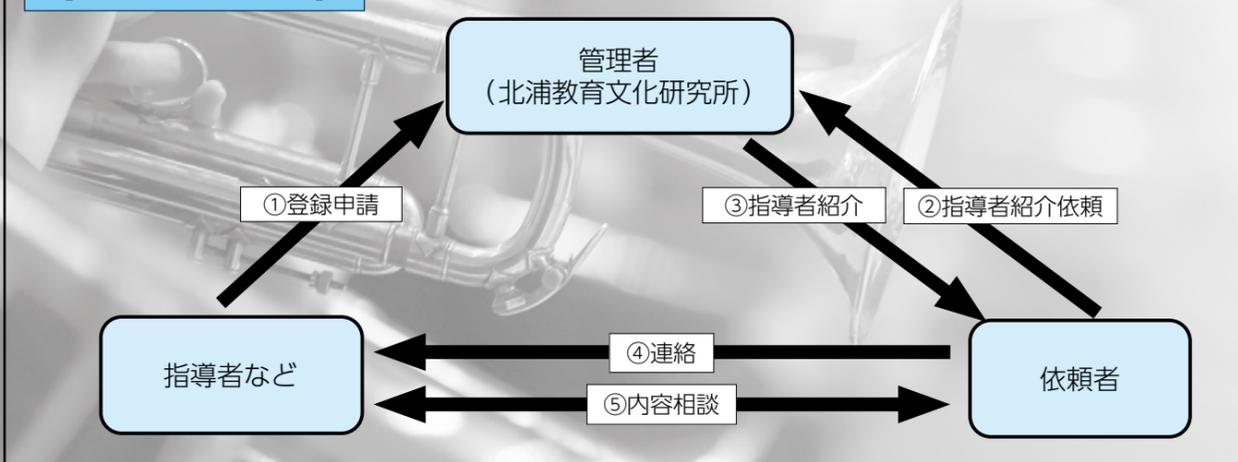
市民のスポーツ活動の普及、発展、環境整備を図るため、スポーツ指導者などの登録をしてもらい、市内のスポーツ団体、地域のスポーツクラブおよび学校の部活動などの要請に応じて指導者の情報を提供する「仙北市スポーツ指導者登録制度」も始まっています。

競技経験や指導経験などのキャリアを活かして、地域のスポーツ振興に貢献したい方はぜひ登録ください。

詳細と登録はこちら



【登録・利用の仕組み】



仙北市教育委員会 北浦教育文化研究所(西木庁舎) ☎43-3387

仙北市選挙管理委員会からお知らせです

投票所 自宅 「タクシー」による「移動支援」を行います

仙北市における投票所移動支援事業として、歩行や自家用車での移動が困難な選挙人の方を対象に、選挙期日(投開票日)に限り、タクシーにより無料で自宅などから投票所までを送迎する移動支援を実施します。

次の内容をご覧ください、希望される場合は仙北市選挙管理委員会事務局までご連絡ください。一度この制度に登録されると対象者の要件を満たす場合は次の選挙以降も基本的に継続されます。

制度開始について

3月20日(木)に告示、4月6日(日)に開票される秋田県知事選挙より、この制度をスタートします。

申込期間

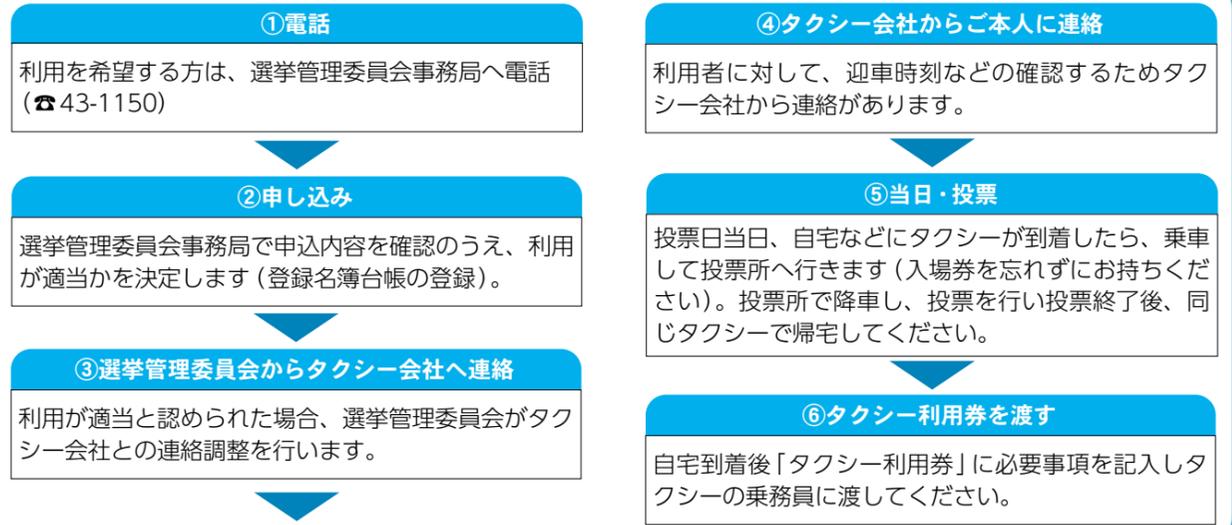
秋田県知事選挙については4月1日(火)まで(代理による申し込みも可能です)

制度利用対象者について

※下記の全てを満たす選挙人が要件です。

- ▶ 現に市内に居住している方
- ▶ 選挙期日に市内の投票所において投票できる方
- ▶ 自宅などから投票所への移動が困難で、補助の移動手段(家族などの送迎)がない方
- ▶ タクシーまで自力で移動できる、または移動を介助する方が同伴できる方
- ▶ 郵便など投票証明書の交付を受けていない方
- ▶ 不在者投票を行うことができる施設に入院または入所していない方

制度の利用方法



利用に当たっての注意点

- ① 利用可能な日時は、投票日当日の9時~15時までです。各タクシー会社の都合もあり時間指定のご要望には応えられない可能性もありますのでご理解、ご協力をお願いします(投票所への到着、投票終了が利用可能時間内になるようにしてください)。
- ② 利用区間は、自宅(乗車地)とその投票区投票所との往復です。途中下車や乗車地以外への移動はできません。
- ③ 期日前投票所への利用はできません。

【Q & A】例えば

- 問① 申し込みは選挙のたびに必要ですか？
- 答① 一度申し込み、登録された方は、以降の選挙についても移動支援の対象となります。選挙ごと選挙管理委員会事務局と制度利用の有無を調整していただくことになります。
- 問② 介助する同伴の方も一緒にタクシーを利用できますか？
- 答② 利用できます。介助する方が同乗することは差し支えありません。

令和7年に行われる選挙

- ・秋田県知事選挙【選挙期日(投開票日)は4月6日】
- ・参議院議員通常選挙【選挙期日(投開票日)は未定】
- ・仙北市長選挙【選挙期日(投開票日)は10月中旬頃】

この制度についての問合せ・申し込み先

仙北市選挙管理委員会事務局(田沢湖庁舎) ☎43-1150